

大項目	中項目	小項目	備考
		5 コンプライアンス、アドヒアランス	
		6 新生児、小児、妊婦、高齢者	
		7 肝障害、腎機能障害	
	E 副作用	1 種類	
		2 機序	
		3 対策	
	F 麻薬性鎮痛薬・鎮静薬	1 種類	
		2 取り扱い	
		3 適応と副作用	
3 輸液、輸血、血液浄化 約 10%	A 輸液	1 適応と一般的注意	
		2 輸液の種類と用法	
	B 輸血	1 適応と一般的注意	
		2 適正使用	
		3 血液型と交差試験<クロスマッチ>	
		4 同種輸血と自己輸血	
		5 成分輸血<赤血球濃厚液、洗浄赤血球、濃厚血小板、新鮮凍結血漿、血漿分画製剤>	
		6 交換輸血	
		7 輸血時の副作用	
		8 輸血後 GVHD	
		9 輸血関連急性肺障害	
		10 輸血による感染症	
	C 血液浄化	1 血液透析	
		2 腹膜透析	
		3 血漿交換	
		4 血液吸着・濾過	
4 手術、周術期の管理、麻酔 約 10%	A 手術	1 外科的侵襲に対する反応	
		2 ショック	
		3 臓器障害〔腎不全、肝機能障害、急性肺障害・急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>、心不全〕	
		4 多臓器不全<MOF>	
		5 出血、止血・凝固・線溶異常	
		6 手術適応と手術時期	
		7 消毒と滅菌	
		8 基本的手術手技<切開法、止血法、結紮・縫合法、植皮術、ドレナージ、減圧法、包帯法>	
	B 周術期患者の管理	1 術前評価、術前処置、麻酔前投薬	
		2 術中全身管理<気道確保、輸液・輸血、心血管作動薬、酸・塩基平衡、モニタリン>	

大項目	中項目	小項目	備考
		グ、悪性高熱症>	
		3 術後管理と集中治療<体位、疼痛管理、呼吸・循環管理、脳圧管理、体液管理、栄養管理、感染症の予防、手術創の処置、離床、合併症>	
	C 麻酔	1 吸入麻酔法	
		2 静脈麻酔法	
		3 筋弛緩薬とその拮抗薬	
		4 低血圧法	
		5 低体温法	
		6 小児麻酔、高齢者の麻酔	
		7 産科麻酔、無痛分娩	
		8 特殊疾患の麻酔<内分泌疾患、頭蓋内疾患、心臓疾患、肺疾患>	
		9 局所麻酔薬	
		10 脊髄(脊椎)麻酔法	
		11 硬膜外麻酔法	
		12 伝達麻酔法[腕神経叢ブロック、閉鎖神経ブロック、指<Oberst>ブロック]	
		13 浸潤麻酔、表面麻酔	
		14 麻酔合併症、麻酔事故	
		15 疼痛の管理<ペインコントロール>	
5 臓器・組織移植、人工臓器、再生医療 約7%	A 移植の種類と適応	1 心臓	
		2 心臓弁	
		3 血管	
		4 肺	
		5 小腸	
		6 肝臓	
		7 膵臓	
		8 腎臓	
		9 造血幹細胞	臍帯血、骨髄、末梢血幹細胞
		10 角膜	
		11 骨	
		12 皮膚	
	B 提供者<ドナー>と被移植者<レシピエント>	1 自家・同種・異種移植	
		2 ドナーの種類	脳死体、脳死以外の死体、生体
		3 日本臓器移植ネットワーク	
		4 アイバンク	
		5 組織バンク	
		6 同意の条件	意思表示カード
		7 倫理的・文化的配慮	
	C 移植と免疫	1 組織適合性	
		2 拒絶反応、GVHD	

大項目	中項目	小項目	備考
	D 人工臓器の種類と適応	3 免疫抑制	
		4 無菌室治療	
		1 人工腎臓	
		2 人工血管、人工弁<機械弁、生体弁、同種生体弁>	
		3 人工心肺、体外循環	脳分離体外循環、心筋保護液
		4 補助循環<IABP、LVAS、LVAD、PCPS>	
		5 心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器<ICD>	
		6 人工関節	
		7 人工骨	
		8 人工腱	
		9 人工靭帯	
	10 眼内レンズ		
	11 人工内耳		
	E 再生医療		
6 放射線治療 約7%	A 放射線感受性	1 正常組織の放射線感受性	
		2 腫瘍の放射線感受性	
		3 放射線治療可能比 <正常組織耐容線量/腫瘍致死線量>	
	B 放射線効果の修飾	1 酸素効果	
		2 放射線増感剤	
		3 温熱効果	
		4 細胞周期	
		5 線エネルギー付与<LET>	
		6 線量率	
	C 空間的線量分布	1 深部線量百分率	
		2 等線量曲線	
		3 線量計算	
		4 標的体積の決定	
	D 時間的線量配分	1 通常分割照射	
		2 多分割照射	
		3 少<寡>分割照射	
		4 回復・再増殖・再酸素化・再分布<4R>	
	E 装置と治療技術	1 外照射	画像誘導放射線治療<IGRT>、定位放射線照射、強度変調放射線治療<IMRT>、重粒子線治療
		2 密封小線源治療	
		3 放射性同位元素<RI>内用療法<内(部)照射療法>	
		4 治療の質と安全管理	
	F 放射線治療の適応	1 根治的照射	
		2 準根治的照射	
		3 対症的照射	
	G 集学的治療	1 術前・術中・術後(周術期)	

大項目	中項目	小項目	備考
		照射	
		2 化学療法との併用	
	H 照射の有害反応		
7 インターベンショナルラジオロジー [interventional radiology<IVR>] 約7%	A 血管系治療	1 適応	
		2 塞栓術	
		3 バルーン閉塞下経静脈的静脈瘤閉塞<BRTO>	
		4 拡張術<血管拡張術、弁拡張術>	経皮的冠動脈形成術<PTCA>、経皮的冠動脈インターベンション<PCI>、ステント留置術
		5 ステントグラフト内挿術	
		6 血栓溶解療法	
		7 カテーテルアブレーション	
		8 異物除去術	
		9 動注化学療法	
	B 非血管系治療	1 適応	
		2 方法 超音波下治療、CT(ガイド)下治療	
		3 ドレナージ	
		4 嚢胞穿刺	
		5 除石術	
		6 拡張術、ステント留置	
		7 胃瘻造設	
		8 神経ブロック	
9 経皮的局所療法<ラジオ波焼灼、エタノール注入、マイクロ波凝固>			
10 微小線源埋め込み療法			
11 骨セメント注入療法			
8 内視鏡治療 約7%	A 種類と適応	1 止血、凝固、結紮、クリッピング	
		2 硬化療法	
		3 切開、切除	
		4 拡張、ステント留置	
		5 照射、レーザー	
		6 異物除去	
		7 内視鏡下手術	
9 リハビリテーション 約10%	A リハビリテーションの概念	1 理念	
		2 分野<医学的リハビリテーション、教育的リハビリテーション、障害児療育、職業(的)リハビリテーション、社会(的)リハビリテーション、心理学的リハビリテーション、リハビリテーション工学>	
		3 リハビリテーション・プログラム	

大項目	中項目	小項目	備考
		4 リハビリテーション・チーム	
		5 自立生活支援	
		6 社会参加	
		7 地域リハビリテーション	
	B リハビリテーションの技術	1 理学療法	
		2 作業療法	
		3 言語聴覚療法	
		4 日常生活動作<ADL>訓練	
		5 心理療法<認知リハビリテーション>	
		6 自立訓練	
		7 義肢<義手、義足>	
		8 装具	
		9 歩行補助具	杖、歩行器
		10 車いす	
		11 自立支援機器	
		12 補聴器	
		13 摂食・嚥下訓練	
		14 排尿・排便訓練	
	C 身体障害のリハビリテーション	1 脳血管障害	
		2 頭部外傷	
		3 脊髄損傷	
		4 脳性麻痺	
		5 神経・筋疾患	
		6 骨・関節疾患	
		7 切断	
		8 視覚障害	
		9 聴覚・平衡障害	
		10 音声・言語・咀嚼機能障害	
		11 内部障害<心臓、呼吸器、腎臓、膀胱・直腸、小腸>	
		12 廃用症候群	
	D 精神障害のリハビリテーション	1 生活指導	
		2 作業療法	
		3 レクリエーション療法	
		4 生活技能訓練[social skills training<SST>]	
		5 デイケア・ナイトケア	
		6 ナイトホスピタル	
7 作業所			
8 授産所			
9 職親			
10 一般就労援助<職業リハビリテーション>			
11 地域生活支援センター		グループホーム、福祉ホーム、福祉工場、援護寮	
12 患者会、患者クラブ			
E 知的障害のリハビリテーション	1 医療と教育との連携		
	2 生活指導		
	3 生活技能訓練[social		